

第 11 回教育研究審議会

議事概要

開催日：平成 23 年 10 月 12 日（水）

場 所：本部棟 3 階大会議室

出席者：加藤祐三学長、高田理孝副学長、椎廣行事務局長、清水雅彦学長補佐、阿毛久芳研究科委員長、鶴田清司初等教育学科長、新保祐司国文学科長、儀部直樹英文学科長、進藤兵社会学科長、大辻千恵子比較文化学科長、杉本光司地域交流研究センター長、稲垣孝博外国語教育研究センター長、重原達也学生課長、相川泰総務課長

欠席者：田中一利理事、福田誠治副学長、大平栄子学長補佐

■挨拶

加藤学長よりあいさつ

議 事

(1) 平成 23 年度非常勤講師の授業担当科目の実施形態変更について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

- ・6/22 の教育研究審議会にて承認されている「メディア・リテラシーⅡ」の授業形態について、通常授業での形態で実施することになっていたが、担当教員の都合により集中講義としたい。履修している学生のことも考慮し 12/26～12/28 とした。

(2) 平成 24 年度司書課程、学芸員課程科目の変更について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

- ・「図書館法施行規則の一部を改正する省令」（平成 21 年文部科学省令第 21 号）及び、「博物館法施行規則の一部を改正する省令」（平成 21 年文部科学省第 22 号）により博物館学芸員・図書館司書の課程科目が変更となり、平成 24 年度新入生から適用になるため。

(3) 「英語演習」科目の新設について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

- ・科目名は、個別指導という考え方から「演習」という表記にしている。また、「3.4 年生で必須以外にも外国語科目を履修してほしい」という思いから開講を考えている。オフィスアワーの拡大のよなものだと考えてほしい。
- ・両担当教員の講義内容に、大分違いがあるが上手く運営できるのか。また、ポートフォリオの作成が講義内容に入っているが、これを作成するとなるとかなり細かい指導が必要となるため、指導方法等に差が生じるのではないか。
- ・今までの Reading とはどのような科目だったのか。今回は「演習」という科目名になっているが、Reading と置き換え可能なのか。
- ・単に Reading を減らすのではなく、残った Reading を充実させることも考えた方がいいのでは。また、受講生が少ないという理由で減コマを行うのに、新たな科目を設ける必要があるのか。

報 告

(1) 都留市公立大学法人評価委員会平成 22 年度業務実績評価結果について

○担当より報告。

- ・各自で資料に目を通し、次回の教育研究審議会にて報告を行う。

(2) 平成 23 年度入試アンケート結果について

○担当より結果報告。

そ の 他

* 社会学科講師の退職について

事情により本学を退職することになり、社会学科としては、このことを受け入れ送り出すつもりである。また、他大学への採用が決まっている。

* 教員選考委員会委員：初等教育学科（物理学）

初等教育学科 3 名、英文学科 1 名、社会学科 1 名